

## 自治体の広域連携を考えるワークショップ

4年ほどおつきあいさせていただいています、名古屋市を中心とした自治体の連携を考えるワーキンググループ（JYM39）。今年度は、より多くの部署への周知と連携のメリットを創出していくための基礎づくりをすることになりました。途中経過ですが、ご報告します。

### ☆広域連携の進み方

広域連携のメリットは、事業現場をもっている部署にある。ということで、参加自治体の庁舎内の各部署にアンケートをすることになりました。

その回答をもとに潜在的なニーズを掘り起こす、顕在化しているニーズがあるのかなどを分析します。そして、いよいよ事業担当の部署を巻き込んで連携に向けて動き出そうという絵を描きました。

### ☆アンケートの項目を考えました

今回のワーキングでは、どのような部署に、どのようなことを聞くのかのアイディアを出し合いました。内容は、連携すると経費も削減できそうな項目、単体の自治体で行うよりも連携して行うほうがインパクトのある項目、効果のありそうな項目などが出てきました。

ファシリテーターとして、そのアイディアの傾向を見える化できるように共有しました。それを見ながら話し合ったり、コメントがあつたりしたのを目にして、見える化の重要性を再確認できました。

### ☆途中にグループ間で共有することの効果

グループワークの途中で、ポスターセッションを入れました。ポスターセッション後のグループワークの議論の深まりと活性化をみていると、難しい検討課題であるからこそ、他のグループとの情報共有が大切だと改めて確認しました。



☆見える化、情報共有が議論の活性化に寄与することを痛感しました。また、参加したみなさんの熱い思いや地元愛にも触れることができ、いつも楽しいワークショップになっています。これからも、もっとみなさんが楽しく、本気を出せるよう、そして、実りにつながっていくような工夫をしていこうと思いました。